

東雲中学校校長室通信

文責 校長 渡邊 和彦

平成二九年六月二七日発行第十号

ヒヤリハット

佐伯市内の小中学校で、一つ間違えると重大事故につながるかねない、自転車での「ヒヤリ、ハット」した事故が数件続いたと会議で知らされました。ハイリッヒの法則という物があり、軽微な事故が数回続くと事故につながる。悲惨な事故につながるのだそうです。本校でもすぐに生徒に指導を行いました。その中で、「今まで自転車でヒヤリとしたこと、気をつけようと誓うことをそれぞれ一つ書いて！」とお願いしたのです。名前は伏せますが出てきたヒヤリの事例を紹介します。

▼ハンドルの信号がぶつかってこけそうになったこと ▼信号で横断歩道で青信号になって渡ろうとしたら、車がビューンとどうってねられそうになった。 ▼横断歩道で自転車で待っているとき青マークになっていこうと思つたら車が信号むしをしていったときにはねられそうになった ▼前を見ておらずかべにぶつかりかけた ▼前に家の前の小さな道から大きな道にとびだして、その時に車がきていたこと ▼左右を見ていなく

ていそいでいたのでとびだしてしまつてあやうくしかれるとこだったということがありました。車は急ブレーキをかけて止まつてくれましたが本当に危なかつたです。※これはごく一部、原文のままです

自分は気をつけていて、ルール通り行動しても車が違法な動きをするかも知れません。日頃気をつけていても慌てる時、事故になることもあります。自分を守るために必要なこと。「迫りくる危険に対し、野生の勘を働かせろ」本当に強いと言うことは、攻撃力、防衛力もちろんです。「リスク管理能力」が大事だと思えます。危険や損失、失点、失敗を最小限に押さえ込む能力です。危険を察知できて回避できる人になって下さい。お母さんやお父さんに怒られそうな気配を感じたことはありませんか？アレですよ。校長先生は妻にその気配を感じると、そつと外出して、サウナなどに逃げてます。(笑)



ごめーん

私が子どもの頃、1日10円あれば満ち足りた気分だった。ほぼ何でも買えたような気がする。お店は浅海井にたくさんあった。クボヤさん、オオトモさん、ネギノホンヤさん、スガパンさん、ケーキヤさん、ヤナギヤさん。二区の踏切側にもお店があった、駅前にはさなが

ら銀天街のようだった。かき氷を食べさせてくれるお店もあった。(流石に10円では無理)で、一人で買物にいけないようになると、誰から教わったのかわからないのだけど、買物物のルールを(マナー?)身につけた。お店に入ったら大きな声で「ごめーん」と言う。謝っているのでもないし、武士が屋敷に入るときの挨拶でもない。おそらく、ごめんくださいを短く省略したもの。チョコル、いも飴、ホームランバー、甘納豆のくじ、塩せんべい(なぜかあめ玉II) マーブルが入っていた)粉の袋入りジュース(これでメロンの味を知った)

いつの間にか「ごめーん」と言わなくなつた。代わりに「ピンポーン」と音がする。コンビニではほぼ無言で買物をしてる。「唐揚げいかがですか?」と慇懃無礼なほどの笑顔で言われると、答えるのが億劫でイラツとすることさえある。

四十数年前「おばちゃん、これなんぼ?これはなんぼ?」といちいち価格を聞きながら、買物をしてた頃がなつかしい。10円の買物に優しく対応してくれた、おばちゃんが懐かしい。こんど、コンビニに入るときでつかい声で「ごめーん!」と言ってみようかな?言えるかな?そんな勇氣あるかな?(笑)

